特別展「かわいい 楽しい 江戸絵画－若冲・芦雪・蕪村－」を開催しました

10月7日から18日まで、市民ギャラリー(緒絶の館)で「大崎市誕生20周年・大崎市民ギャラリー開館30周年記念 特別展『かわいい 楽しい 江戸絵画－若冲・芦雪・蕪村－』」を開催しました。

本展では、江戸時代の京を彩った絵師たちの名作が集結しました。伊藤若冲の作品15点、長沢芦雪の作品4点、与謝蕪村の作品2点、さらに芦雪の師であった円山応挙の作品1点を加えた、計22点の作品全てが東北で初公開となりました。会場には、ふわふわな子犬などの動物や草花を繊細かつ愛らしく捉えた作品が並び、かわいらしい世界観が訪れた美術ファンの心を魅了しました。会期中には専門家を招いた記念講演会もあり、参加者は江戸絵画の奥深い魅力や制作背景について学びを深めました。

また、10月1日から30日まで、特別展のコラボ企画として、スタンプラリーをはじめとする「古川まちなか♥にぎわい事業」が開催されました。展覧会と併せてまち歩きを楽しむ人々でにぎわい、古川地域を芸術の秋が彩りました。



▲時代を超えて江戸絵画を楽しむ観覧者



▲特別展監修者 岡田 秀之 氏(若冲研究者・福田美術館学芸課長)による講演会

冷泉家 和歌披講を開催しました

10月10日、岩出山文化会館(スコーレハウス)で、大崎市誕生20周年記念事業「冷泉家和歌披講」を開催しました。

当日は、上野目神楽鶏舞伝承クラブによる祝いの舞「鶏舞」「岩戸入りくずし舞」から始まり、華やかな雰囲気の中で幕を開けました。この舞は、地域に伝わる民俗芸能で、場を清め、催しの成功を願う意味が込められています。

冷泉家第25代当主夫人 冷泉 貴実子 氏による講演では、冷泉家の歴史や文化、岩出山伊達家との深い交流に加え、冷泉家が代々守ってきた和歌の伝統と意義が紹介されました。

冷泉家時雨亭文庫による和歌披講では、冷泉流特有の節回しで和歌が朗詠されました。この節回しは、古典和歌の音韻を大切にしながら、音の高低や間を巧みに操る伝統的な技法で、抑揚のある優雅な響きが会場全体に広がりました。

本市と冷泉家の文化的なつながりを改めて認識する機会となり、来場者は冷泉家について理解を深めるとともに、いにしえから受け継がれてきた公家文化を深く感じていました。



▲冷泉家第25代当主夫人 冷泉 貴実子 氏による講演



▲冷泉家時雨亭文庫による和歌披講

令和8年度大崎市民憲章書道コンクール表彰式を行いました

10月13日、大崎市誕生20周年記念令和8年度大崎市民憲章書道コンクール表彰式を行い、最優秀賞と優秀賞の受賞者を表彰しました。

市内の小・中・義務教育学校26校から225点の応募があり、審査を経て28点の作品を選定しました。入選作品は、11月6日(金)から18日(水)まで、図書館(来楽里ホール)に展示します。子どもたちの力作を鑑賞しませんか。



▲最優秀賞・優秀賞受賞者の皆さん

大崎市誕生20周年記念 令和8年度大崎市民憲章書道コンクール 最優秀賞・優秀賞受賞者

区分	氏名	学校・学年
最優秀賞(2人)	神田(かんだ) ことこさん	古川第二小学校5年
	茶碗谷(ちゃわんや) 柚希(ゆずき)さん	古川中学校3年
優秀賞(7人)	鈴木(すずき) 心結(みゆ)さん	古川第四小学校3年
	髙橋(たかはし) 咲翔(さくと)さん	古川西小中学校4年
	橋元(はしもと) 梓紗(あずさ)さん	沼部小学校5年
	佐々木(ささき) 柚寧(ゆずね)さん	古川第四小学校6年
	髙橋(たかはし) 颯太(そうた)さん	古川西小中学校7年
	菊地(きくち) 伊織(いおり)さん	古川黎明中学校2年
	亀山(かめやま) 華凜(かりん)さん	鹿島台中学校3年

入選作品の展示

期間 11月6日(金)～18日(水) 9時～21時
(初日は正午から、最終日は14時まで)
場所 図書館(来楽里ホール)1階



大崎市民憲章に込められた思いとは

問 まちづくり推進課地域自治・NPO担当 ☎㉓5069

■**市民憲章の配布**

市民憲章の掲示を希望する個人や事業所などに、市民憲章の額(A2サイズ、420ミリメートル×594ミリメートル)を配布しています。

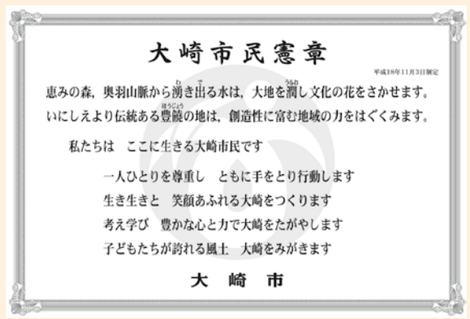
詳しくは、問い合わせください。



大崎市民憲章は、平成18年11月3日に制定され、大崎市に住む全ての市民の基本的な規範、指針となる宣言です。

11月は、市民憲章の制定月です。改めて、市民憲章に込められている思いを紹介します。

大崎市民憲章の構成



大崎市民憲章

平成18年11月3日制定

恵みの森、奥羽山脈から湧き出る水は、大地を潤し文化の花をさかせます。
いにしえより伝統ある豊穣の地は、創造性に富む地域の力をはぐくみます。

私たちは ここに生きる大崎市民です

一人ひとりを尊重し ともに手をとり行動します
生き生きと 笑顔あふれる大崎をつくります
考え学び 豊かな心と力で大崎をたかめします
子どもたちが誇れる風土 大崎をみがきます

大 崎 市

前文 恵まれた自然、豊かな文化、先人の築いてきた歴史と伝統への敬意と賞賛をうたい、市の風景が浮かぶように表現されています。

本文 市民が市に生きる誇りや喜びを感じ、市民としての責任を持ち、個人の尊重、互助精神、住民協働、安全・安心で快適な暮らし、人材育成や産業振興を希求し、先人から引き継いだ歴史や文化に磨きをかけ、次代を担う子どもたちが誇れる市を創造していくという思いが込められています。